OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	サバイバルキャンプ
Author(s)	出口, 雅子
Citation	大阪公衆衛生. 1994, 66, p. 17-17
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83798
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

サバイバルキャンプ

大阪府環境保健部健康増進課　出口雅子

8月13、14日猛暑が続く西日本に、台風が接近したお盆のとき、私の所属する健康増進課健康普及係では、奈良県のキャンプ場へ、計画通りキャンプに出かけました。

二台の車で夕食や、翌日の朝食の買い出しをし、いざ出発!!　昼食は、通り道の奈良県の名産「柿の葉ずし」。本店“たなか”は有名なところ。

道中、目的地に近づくにつれ、雨が降ったり止んだりが、どんどんひどくなっていた。にもかかわらず、既にテントを張っている人の多いこと！　目的地の旭口キャンプ場はいっぱいで、テントを張る場所がなく、少し先の谷瀬のキャンプ場へ行ってみた。

ここもいっぱいだったが「ここまで来たからには、あの有名な谷瀬の吊り橋を渡ろう」ということになった。高所恐怖症の私にとっては、とんでもないことであった。

心臓は飛び出そうなほどドキドキ、足はガクガク（後で筋肉痛になった）、腰はへっぴり腰、手を引いてもらいながら渡ったけれども、もう二度と渡るのはごめんである。

雨は相かわらず、降ったり止んだりが続くけれど、何とか場所を見つけてテントをはった。

すぐに夕食のバーベキューの準備をした。牛肉ロース、ミノその他いろいろと野菜もたっぷり。やっぱり、野外で食べるのは、なぜかとてもおいしいものである。皆、おいしそうにビールを飲んでいた。幸せな一時であった。

雨と突風の中、たくさん買った花火をし、ほっと一息ついていたところ、突然の激しい暴風でテントがみんな飛んでしまったのだ!!びっくり仰天である。雨足はかなり強く、寒さで身体がブルブルと震えた。

何とか体勢を立て直し、テントの中で寝ることにした。寝てる間も、突風でテントが動くのである。寒さもあって、なかなか寝つけない、台風の怖さをはじめて知りました。

やっとの思いで朝がきて、台風も去り、きげんよく朝食、昼食、カードゲームまでして帰ることとなったが、最後にもうひとつ、車酔いをしてしまったのです。

普及係のみなさん、御迷惑をおかけしました。10数年ぶりに行ったキャンプですが、いろんなことがありました。いい思い出になりました。が、キャンプは当分行くことはないでしょう。